2　アフリカの歴史と文化

○植民地支配の歴史

アフリカの歴史

10 世紀ごろ：イスラム教徒の商人との交易

→金などの資源や象牙などの珍しい産物の交易

16 世紀：ヨーロッパ人によって、多くの人々が（　　）として南北アメリカ大陸へ

→アフリカの人口が減少

19 世紀後半から 20 世紀前半：アフリカ州のほとんどがヨーロッパ諸国の（　　）として分割

例）セネガル：フランスの旧植民地。フランス語を使い、教育や食文化にも影響が見られる

※（　　）とは、他の国に支配された地域のこと。植民地となった地域は、さまざまな権利が本国に奪われ、本国の人々によって開発された

○多様な民族が暮らすアフリカ

アフリカの民族

→多くの民族が暮らし、地域独自の食習慣や民族音楽などを育む

アフリカの言語・宗教

サハラ砂漠の北側：主にアラビア語が話され、多くの人々がイスラム教を信仰

サハラ砂漠の南側：民族によってさまざまな言語を使用、キリスト教を信仰する人々も多数存在

1960 年代：アフリカの植民地の多くが独立（特に 1960 年は、「アフリカの年」と呼ばれる）

→植民地時代の境界がそのまま国境となる国が多く、国内の地域によっては、民族や言語・宗教が異なる国もある

○政治的・経済的団結を目指して

（　　）とは、アフリカの 55 の国と地域が加盟する国際機関のこと

→アフリカ諸国や国民間の団結、政治・経済・社会的な統合、平和や安全保障を目的に発足

○和解と協調を進める南アフリカ共和国

（　　⋆）　首都：プレトリア

（　　⋆⋆⋆）によって、少数の白人が多数の黒人を支配

→1994 年に選挙が行われ、黒人のネルソン・マンデラが大統領になり、アパルトヘイトは廃止